5/30 神戸新聞 朝刊 スポーツ面

市尼崎が5連覇

女子団体総合 新体制で王座守る

体操

（尼崎市ベイコム総合体育館）

体操女子団体総合は、昨年の全国総体3位のメンバーが残る市尼崎が王座を守った。右ひじの手術を乗り越え、個人総合でもトップに立った渡辺主将は「意識を高く試合に臨めた」と笑顔で振り返った。

（二川アジア大会日本代表の本田（現武庫川女大）が卒業し、チームを2度全国3位に導いた垣谷監督も退任。4月から市尼崎OBの古山監督が就任し、「ネバーギブアップというモットーを引き継ぎ、楽しそうに演技をする市尼のカラーも大事にしたい」と心身の強化を図っている。

体操女子団体総合 段違い平行棒の演技をする市尼崎の園田＝尼崎市ベイコム総合体育館

阪神地区大会よりもEスコア（実施点）を伸ばそうと、倒立の角度や平均台でのふらつきをなくすことにこだわった。最初の平均台では落下する選手も出たが、渡辺は「一つ一つのポイントは押さえられた」と前を向き、「新しいチームとして上に上がれるように」と悲願の日本一を見据えていた。

（小川康介）

体操男子・山岡航太郎（市尼崎＝団体総合、個人総合の2冠）「失敗がなかったのはよかった。鉄棒とつり輪で技の難度を上げたが、完成度はまだまだ。チームとしては1人が失敗しても後の3人がしっかりやり通すことを心掛け、気持ちを落とさずできた」

【男子】団体総合 ①市尼崎（山岡、藤井、冨森、川上）235・150点②姫路商225・750点③報徳222・000点④飾磨180・950点⑤村野工176・550点⑥県西宮161・300点

▽個人総合 ①山岡航太郎（市尼崎）80・850点②小野（姫路商）76・550点③川上（市尼崎）76・200点④藤井（市尼崎）75・850点⑤冨森（市尼崎）75・300点⑥中尾（報徳）74・900点

▽種目別床運動 ①山岡航太郎（市尼崎）13・900点②中尾（報徳）13・350点③川上（市尼崎）13・300点▽同あん馬 ①岩谷優一郎（報徳）13・000点②山岡（市尼崎）12・900点③吉川（姫路商）12・750点▽同つり輪 ①山岡航太郎（市尼崎）13・500点②川上（市尼崎）13・250点③小野（姫路商）13・100点▽同跳馬 ①山岡航太郎（市尼崎）14・050点②藤井（姫路商）13・900点③中尾（報徳）13・750点▽同平行棒 ①山岡航太郎（市尼崎）13・700点②小野（姫路商）13・400点③冨森（市尼崎）13・100点▽同鉄棒 ①藤井翔（市尼崎）13・050点②山岡（市尼崎）12・800点③中尾（報徳）12・650点

【女子】団体総合 ①市尼崎（渡辺、園田、樽井、隅）154・900点②夙川148・300点③武庫川大付142・100点④姫路商129・200点⑤市伊丹124・000点⑥県西宮86・650点

▽個人総合 ①渡辺咲貴（市尼崎）53・050点②園田（市尼崎）50・850点③樽井（市尼崎）50・800点④大寺（武庫川大付）50・500点⑤伊藤（夙川）50・050点⑥隅（市尼崎）49・000点

▽種目別跳馬 ①伊藤愛梨（夙川）13・350点②大寺（武庫川大付）13・150点③園田（市尼崎）13・000点▽同段違い平行棒 ①渡辺咲貴（市尼崎）13・050点②大寺（武庫川大付）12・650点③伊藤（夙川）12・350点▽同平均台 ①渡辺咲貴（市尼崎）13・800点②園田（市尼崎）13・050点③川本（夙川）12・700点▽同床運動 ①樽井萌々伽（市尼崎）13・600点②渡辺（市尼崎）13・450点③伊藤（夙川）13・300点